



PTA宇都宮

第86号

発行/宇都宮市PTA連合会 福田 治久
宇都宮市天神1-1-24 宇都宮市教育センター内
TEL・FAX 632-7856
ホームページ/ <https://www.utsunomiyashi-pta.jp>
E-mail/ jimukyoku@utsunomiyashi-pta.jp
編集/市P連新聞編集委員会
印刷/㈱松井ピ・テ・オ・印刷

令和 4 年度定期総会



5月26日、令和4年度定期総会が宇都宮市文化会館にて執り行われました。3年振りに来賓をお招きし、市長 佐藤栄一様、市議会議員 熊本和夫様、市教育委員会教育長 小堀茂雄様よりお祝いのお言葉を頂戴いたしました。

市PTA連合会の福田治久会長からは、コロナ禍におけるPTA活動のあり方についての話があり、「本質は揺るぎなく守り続け、時代に合わせ内容を精査し、PTA活動の再構築に共に尽力していきたい」と挨拶がありました。

議事では、本年度の活動方針案、事業計画案、予算案及び新役員案など、すべての議案について承認されました。

また、長きにわたり当連合会を支え退任する27名の役員の方に、福田会長から感謝状を贈呈し、無事閉会となりました。

令和 4 年度宇都宮市 P T A 連合会役員

専務理事		常任理事		副会長		会長	
山本 伸夫	山本 伸夫	増山 孝之	増山 孝之	菊地 芳弘	菊地 芳弘	福田 治久	福田 治久
林 昌宏	林 昌宏	樽井 圭子	樽井 圭子	佐藤 要	佐藤 要	西 小	西 小
鮎澤 秀則	鮎澤 秀則	山本 和紀	山本 和紀	佐藤 直美	佐藤 直美	中村 大介	中村 大介
旭野 好紀	旭野 好紀	山本 和紀	山本 和紀	佐藤 直美	佐藤 直美	中村 大介	中村 大介
小滝 伸佳	小滝 伸佳	山本 和紀	山本 和紀	佐藤 直美	佐藤 直美	中村 大介	中村 大介
宇賀神 達也	宇賀神 達也	山本 和紀	山本 和紀	佐藤 直美	佐藤 直美	中村 大介	中村 大介
斎藤 竜也	斎藤 竜也	山本 和紀	山本 和紀	佐藤 直美	佐藤 直美	中村 大介	中村 大介
金井 秀文	金井 秀文	山本 和紀	山本 和紀	佐藤 直美	佐藤 直美	中村 大介	中村 大介
飯沼 貞臣	飯沼 貞臣	山本 和紀	山本 和紀	佐藤 直美	佐藤 直美	中村 大介	中村 大介
引地 健二	引地 健二	山本 和紀	山本 和紀	佐藤 直美	佐藤 直美	中村 大介	中村 大介
高橋 重年	高橋 重年	山本 和紀	山本 和紀	佐藤 直美	佐藤 直美	中村 大介	中村 大介
加藤 友晴	加藤 友晴	山本 和紀	山本 和紀	佐藤 直美	佐藤 直美	中村 大介	中村 大介
長田 昇一	長田 昇一	山本 和紀	山本 和紀	佐藤 直美	佐藤 直美	中村 大介	中村 大介
佐藤 達也	佐藤 達也	山本 和紀	山本 和紀	佐藤 直美	佐藤 直美	中村 大介	中村 大介
高橋 章良	高橋 章良	山本 和紀	山本 和紀	佐藤 直美	佐藤 直美	中村 大介	中村 大介
今村 奈津恵	今村 奈津恵	山本 和紀	山本 和紀	佐藤 直美	佐藤 直美	中村 大介	中村 大介
川上 靖恭	川上 靖恭	山本 和紀	山本 和紀	佐藤 直美	佐藤 直美	中村 大介	中村 大介
稲見 浩一	稲見 浩一	山本 和紀	山本 和紀	佐藤 直美	佐藤 直美	中村 大介	中村 大介
石井 和子	石井 和子	山本 和紀	山本 和紀	佐藤 直美	佐藤 直美	中村 大介	中村 大介

「千の蔵より子は宝」宮子たちの未来のために

宇都宮市PTA連合会 会長 福田 治久

令和4年度も宇都宮市PTA連合会の会長に選任いただきました。皆様方には本市すべてのPTA活動にご理解ご協力をいただいておりますことを心より厚く御礼申し上げます。

新型コロナウイルスは社会全体に今なお、大きな影響を与え続けており、学校教育と家庭教育の環境も大きく様変わりをしてしまいました。未だに『終息』というこの2文字が見えぬ今ではあります、少しずつ、社会・経済を

回し始め、学校内での行事等も工夫しながら行われるようになって参りました。今年度は皆様方と共に沢山のことを取り戻してゆきたいと考えております。そして、この時代を生きる、愛して止むことのない子どもたちは、戸惑いながらも、たくましく日々成長してくれています。

こんな時代だからこそ、4万名の愛して止むことがない子どもたちの光り輝く未来のために、時代に合わせ組織の柔軟さも持ち合わせて進化を

して参ります。

『千の蔵より子は宝』子どもは何物にもかえ難い宝であり大切な社会資産であります。人と学校と地域に守り愛され育てられている子どもたちを、今よりも安心安全に、今よりも多くの愛を注ぎ育てられる環境を創造し、宮子たちの未来の全てが光り輝くものになるよう活動して参る所存でございます。今後ともご理解ご支援をいただけますようお願い申し上げます。

市P連ソフトボール大会

優勝は「峰小」と「横川中」



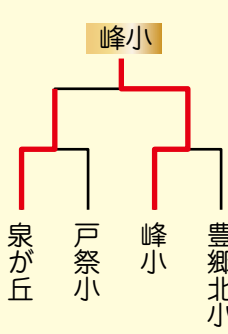
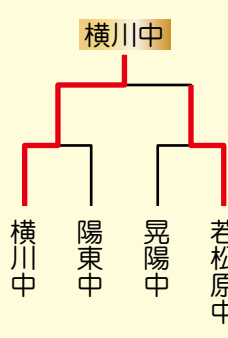
横川中 このような状況の中まずは開催して頂き関係者の皆様に感謝です。その中で2連覇で大変嬉しいですね。来年は全校が参加する中3連覇目指してがんばります。

若松原中 3年ぶりの大会、実行委員の皆様ありがとうございます。今回、参加校は少なかったですが準優勝できました。今後PTA活動に弾みをつけたいです。



峰小 和気あいあいとしたチームの雰囲気をつかみ取った優勝、非常に嬉しいです。保体委員などみんなのサポートがあったからこそです。大人の青春楽しめました。

泉が丘小 楽しくをモットーに勝ち上がってきました。決勝は残念ながら負けましたが、みんなで勝ち取った準優勝です。応援ありがとうございました。



大会1日目は6月5日(日)、2日目は6月19日(日)に開催されました。今年度は小学校42校・中学校16校の参加があり、3年振りの開催となりましたが、多くの学校にご参加いただき熱戦が繰り広げられました。ご参加の皆様、ありがとうございました。



学校長・PTA会長研修会

8月2日、ホテルニューイタヤにおいて、学校長・PTA会長研修会を3年ぶりに開催しました。

一般社団法人とちぎ市民協働研究会代表理事 廣瀬隆人様より「地域とともにある学校を支えるPTA」と題するご講演を頂きました。子どもたちは多くの体験をする事で成長するのであり、誰かのために何かをする大人と出会う事で、自分もそうなりたいと感じるようになる。PTAはその機会を作るために、新しい事を始めるのではなく、今



までやってきた地域活動を、新しい気持ちで継続していく事が重要だ。というメッセージをいただきました。コロナ禍で中断していた活動を再開しようとしているPTA向けに励ましとなる研修会になりました。

常任理事 山田 卓也



以前、こんなことがありました。朝、昇降口で1年生の数人とおしゃべりをしていて、そこに、少し遅れて登校した6年生のAさんが通りかかりました。すると1年生が「この人は？」という顔。「6年生のAさん。A先輩だよ。」と答える私に、Aさんは「僕なんか、先輩の資格はないです。」とつぶやきました。Aさんは、コミュニケーションが上手ではなく、思い違いからトラブルになることがあるお子さんでした。学校での活動にやる気をもてないことも多々ありました。

私はとっさに、あるエピソードを思い出し、こう言いました。「そんなことないよ。この間の昼休み、1年生の投げたボールが体育小屋の裏に飛んでいったとき、Aさんが取りに行ってくれて助かった、という話をB先生から聞いたよ。Aさんは、優しく気が利くって、B先生も褒めていたよ。」

するとAさんは、ぱっと笑顔になり、「え？そんなことB先生が言っていたの？そうか。先輩なら遅刻なんてしてられないな。」と言って、足取り軽く、教室に向かいました。

私は、Aさんが、このようなエピソード一つで気持ちを前向きにしてくれたことが意外でした。「どうせ自分なんて」という気持ちも、強いついて、改めて考えさせられました。

皆川 美弥子

単P短信

地域の歴史に根付いたアットホームな学校

上河内西小学校

宇都宮の北部、羽黒山の麓に位置する上河内西小学校は、住宅団地に隣接しながらも、水田と緑に囲まれ、毎朝ウグイスの鳴き声が聞こえてくる、自然豊かな環境にある学校です。

清掃活動、花壇整備など、縦割り班活動が多くあり、学年を越えて仲よく活動しています。新年度になると、一年生の歓迎行事として、縦割り班で行く羽黒山なかよし遠足があります。上級生が下級生を励まし、気遣いながら、山頂まで登ります。山頂では「ウォー

ラリー」の難関に挑戦し、その後昼食を食べます。子どもたちが楽しみにしている行事です。残念ながら、今年は中止となってしまいましたが、新入生を歓迎したいという思いから、後日「一年生と楽しむ会」で校内ウォークラリーを開催し、縦割り班の絆を深めました。

本校は、昭和42年に中里小学校と今里小学校が統合し、鶴が峰中学校の跡地に開校されました。その昔、本校が建つ小高い土地に一羽の鶴が舞い降りたとの言い伝えがあり、校章には一羽の鶴が向かい合ってデザインされています。大きく羽ばたく鶴のように、子どもたちが力強く未来に向かって羽ばたいてほしいという願いが込められています。児童数103名、一学年13人から21人のクラスとなっています。昼休みのなかよし活動や、



遠足に行く羽黒山頂上には羽黒山神社があり、江戸時代に始まったと伝えられる「梵天祭り」が有名です。五穀豊穡や家内安全を願い山に登る梵天は、本校の校舎内に飾られており、児童にとって身近な存在になっています。保護者や地域の方々に見守られ、上河内の「ゆずっ子」として、子どもたちは明るく元気に育っています。



単P短信

花と緑と小鳥の学校

城山中央小学校

本校は大谷石で有名な観光地大谷、多気山など自然景観に恵まれた城山地区に位置している学校です。周りには大谷寺や大谷観音、平和観音や多気不動尊、多気城址等の歴史的な遺跡が沢山あります。城山中央小学校の校舎裏には、我が校自慢の【まごころ広場】という名前の裏山があります。

昭和52年の創立80周年記念事業として設置されました。平成22年には全国学校関係緑地コンクールにおいて、特選文部科学大臣賞を受賞し、他にも県や市の緑化コンクールにて賞をいただいています。まごころ広場には、滑り台やたいこ橋などの遊具、大谷石を敷いたうたごえ広場、つど



いの家があります。うたごえ広場では第二の校歌ともいわれている「まごころ広場の歌」を全校児童で歌っています。四季にちなんだ歌詞になっており自然の中で響く歌声はとても素敵です。広場には色々な種類の木々や花があり、鳥のさえずりも聞こえます。四季折々の季節を感じる事ができます。「花と緑と小鳥の学校」という合言葉にぴったりの学校です。さらにこのように環境の中、地域の方と積極的にふれあい、優しい心を育んでいます。これからの学校と地域が一体となり、大切な子どもたちの毎日を楽しいものにしていきたいと思っています。



令和4年度 広報紙コンクールのお知らせ

今回の応募期間
1月12日(木)～2月3日(金)
※詳細は事前に学校へ通知を送付します。

審査のポイント!

- ・伝えるべき内容・テーマを精査する
- ・PTAとしての視点や思いが記事にされていると良い
- ・今だからこそ記事をピックアップ
- ・記事に見出しをしっかりとつける
- ・写真と記事のバランスを取る

たくさんの学校からのご応募、お待ちしております。



最優秀賞 御幸が原小学校



最優秀賞 姿川中学校



3月23日に教育センターにて「広報紙コンクール審査会」が行われ各賞が決定しました。結果は次の通りです。

優秀賞校名

西小
城山西小
瑞穂台小
宇大附属小
一条中
雀宮中
田原中
宇大附属中

令和3年度

広報紙コンクール

事務局だより 《今後の事業予定》

10月15日(土)～16日(日)	・第54回関東ブロックPTA研究大会山梨大会	甲府市 他
11月 6日・13日・20日(日)	・市P連バレーボール大会第1日目	明保野体育館 他
11月 8日(火)	・県P連「子育てセミナー」	県教育会館大ホール
12月10日(土)	・市P連バレーボール大会第2日目	河内体育館
1月20日(金)	・PTA会長会	ホテル東日本宇都宮
2月 8日(水)	・広報紙コンクール審査会	市教育センター

※今後の状況によっては行事の延期・中止もありますのでご了承ください。

編集後記

昨年に続きコロナ禍でのPTA活動ですが、皆様のご尽力のおかげで色々な活動が少しずつ再開されています。皆様に沢山の情報を届けたいように、新聞編集委員一同努めてまいります。子どもたちの笑顔のために協力をお願いします。津川静恵

編集委員

皆川 美弥子 (瑞穂台小)
津川 静恵 (宇大附属中)
河内 由美 (田原中)
篠原 香恵 (上河内西小)
齋藤 真弓 (姿川第一小)
依田 一徳 (瑞穂台小)
青木 久一郎 (瑞穂台小)
河村 圭 (瑞穂台小)
柳本 宏美 (城山中)
小堀 久恵 (城山中)
大山 伸子 (事務局)
皆川 美弥子 (瑞穂台小)